

## ご挨拶

日本医療マネジメント学会第12回学術集会 会長  
済生会和歌山病院 病院長 松崎交作

この度、日本医療マネジメント学会第12回和歌山支部学術集会をお世話させていただくことになりました。

日本医療マネジメント学会は、クリティカルパス研究会の活動を基盤に設立され、19年目を迎えます。和歌山支部も発足して11年が経ちました。これまでも医療の質向上を求めてクリティカルパスをはじめ医療安全、医療連携など、医療現場における課題の研究・提案といった形で成果を上げて参りました。

今回のメインテーマは「安心・安全・満足な医療を目指して」ということで、安心・安全な医療の提供はもちろんのこと、満足な医療の提供ということにも着目し、医療をトータルマネジメントするという思いをこめて、このテーマに沿ったプログラム構成と致しました。

特別講演Ⅰではコンサナリストとして、多くの著書を執筆されている川越満先生をお招きし、「地域医療構想と地域包括ケア時代への対応～安心産業のキーパーソンに求められる3つのアウトカム～」と題してご講演を賜ります。

またランチョンセミナーでは、大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部部长 病院教授の中島和江先生に医療安全に関する内容のご講演を賜ります。

シンポジウムでは医師、看護師、管理栄養士、事務といったそれぞれの立場から、4名のシンポジストをお招きし、メインテーマに沿った内容に基づき、講演、ディスカッションをしていただく予定となっております。

特別講演ⅡではNPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長の山口育子先生をお招きし、「患者と医療者が協働する医療を目指して」と題して、医療者目線だけではなく、患者と医療者の協働の実現とより良いコミュニケーションの構築といった内容のご講演を賜ります。

その他、各施設、各職種による一般演題の発表などを予定しています。

本学術集会には医師、看護師、メディカルスタッフ、事務職員など、幅広い職種の医療関係者が参加します。本学術集会を通じて、各職種間、施設間の交流と発展に寄与できればと考えております。臨床・研究に関わる多くの皆様のご参加をお待ちしております。